
第3報 2019年10月31日

令和元年台風第19号等による災害復旧資材供給情報

主要建設資材の供給情報



一般財団法人 経済調査会

このたびの台風19号および10月24日から26日にかけての低気圧による大雨により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

当会では、被災地域における主要資材の供給プラント・工場の稼働状況について、2019年10月31日までに収集した情報をもとに第3報をとりまとめましたので、お知らせいたします。

なお、被災地域の復旧作業の進捗により、当情報が最新情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復旧に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会

土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

主要建設資材の供給プラントの稼働状況

主要建設資材の供給プラントの稼働状況について、当社が電話などによる取材により確認した概況は以下のとおりです。

前号までの状況に変動があった場合は、「稼働及び供給状況」に赤字で追記しています。

掲載内容が前号までの情報は、「資材名称」欄にカッコ書きで提供号数を記載しています。

【東北地区】

地域	資材名称	稼働及び供給状況
岩手県	生コンクリート (第2報)	通常通り稼働
	骨材・砕石 (第1報)	釜石地区の1工場が選別工場への道路が寸断されているものの、在庫品で対応している。その他周辺工場は通常通りに稼働しており供給に問題はない。
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働
宮城県	生コンクリート (第2報)	通常通り稼働
	骨材・砕石	丸森地区の1工場が停電の影響から稼働停止中だが、在庫品で対応しており、供給に問題はない。
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働
福島県	生コンクリート	郡山地区1工場は浸水被害により稼働停止中。稼働再開は11月初旬の見込み。その他周辺工場は通常通りに稼働しており供給に問題はない。
	骨材・砕石 (第2報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品	稼働停止していた南相馬地区1工場は一部稼働再開したものの、全稼働再開の目途は不明。稼働停止していたいわき地区1工場が稼働再開し、現在は通常通り稼働。その他周辺工場は通常通りに稼働しており供給に問題はない。

【北陸地区】

地域	資材名称	稼働及び供給状況
新潟県	生コンクリート (第1報)	通常通り稼働
	骨材・砕石	長岡地区の1工場が水没による機械故障により稼働停止中のため、当面在庫販売にて対応。稼働再開時期は11月上旬予定。その他の工場は通常通り稼働しており供給に問題ない。津南地区において5工場のうち2工場が浸水被害により稼働停止中だが、当面在庫販売にて対応可能。その他の工場は通常通り稼働しており供給に問題ない。
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働

主要建設資材の供給プラントの稼働状況

【関東地区】

地域	資材名称	稼働及び供給状況
茨城県	生コンクリート (第1報)	通常通り稼働
	骨材・砕石 (第2報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物	稼働停止していた筑西市1工場が稼働再開し、現在は通常通り稼働。
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働
栃木県	生コンクリート (第1報)	小山地区3社3工場のうち1工場が浸水被害により稼働停止中。稼働再開の目途は不明。その他周辺工場は通常通り稼働しており供給に問題はない。
	骨材・砕石 (第2報)	佐野地区の稼働停止していた3工場のうち、1工場が稼働再開したが、残りの2工場は道路陥没や浸水により引き続き操業停止中、稼働再開の目途は不明。鹿沼地区の1工場は土砂崩れにより引き続き稼働停止中。稼働再開の目途は不明。
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	那須烏山地区4工場うち2工場は浸水被害により稼働停止中。稼働再開の目途は不明。その他周辺工場は通常通り稼働しており供給に問題はない。
群馬県	生コンクリート (第2報)	通常通り稼働
	骨材・砕石 (第2報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物 (第2報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品	稼働停止していた渋川地区の1工場が稼働再開し、通常通り稼働。
埼玉県	生コンクリート (第1報)	通常通り稼働
	骨材・砕石 (第1報)	通常通り稼働。一部地区で道路への土砂流入等により輸送面に影響が及んでいる。
	アスファルト混合物 (第2報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働
千葉県	生コンクリート (第1報)	通常通り稼働
	骨材・砕石	木更津地区では大手4工場で浸水被害により稼働停止中のため、在庫品で対応している。稼働再開の目処は不明。
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働

主要建設資材の供給プラントの稼働状況

【関東地区】

地域	資材名称	稼働及び供給状況
東京都	生コンクリート	三多摩地区23工場のうち、7工場が骨材を調達できず出荷停止、13工場が骨材の調達に懸念があるため出荷制限中。
	骨材・砕石	稼働停止していた多摩地区3工場のうち、1工場が稼働再開したが、残りの2工場は浸水により引き続き稼働停止中。稼働再開の目的は不明。
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働
神奈川県	生コンクリート	山北地区1工場が骨材調達困難により出荷制限中。その他工場は通常通り稼働。
	骨材・砕石 (第2報)	足柄地区1工場が設備破損と土砂流入のため出荷不可。1ヵ月ほどで稼働再開の見通し。その他工場は通常通り稼働しており供給に問題はない。
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働
山梨県	生コンクリート (第1報)	通常通り稼働。大月地区で道路への土砂流入等により輸送面に影響が及んでいる。
	骨材・砕石 (第2報)	早川町内1工場が土砂による道路寸断のため出荷不可。稼働再開の目的は不明。大月地区で道路への土砂流入等により輸送面に影響が及んでいる。
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働。大月地区で道路への土砂流入等により輸送面に影響が及んでいる。
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働。大月地区で道路への土砂流入等により輸送面に影響が及んでいる。
長野県	生コンクリート	長野市内2工場が被災。そのうち1工場は稼働再開し、通常通り稼働。1工場は浸水被害により稼働停止中で、稼働再開は来年以降になる見通し。 千曲市内1工場が設備破損により稼働停止中。2～3週間ほどで稼働再開の見通し。 浸水被害により稼働停止していた佐久市内の1工場が稼働再開し、通常通り稼働。 その他周辺工場は通常通り稼働しており、供給に問題はない。
	骨材・砕石	飯山市内1工場が浸水被害により稼働停止中。1ヶ月ほどで稼働再開の見通し。 中野市内の1工場が浸水被害により稼働停止していたが、一部製品の製造を再開。2～4週間ほどで通常稼働の見通し。 長野市内1工場が浸水被害により稼働停止しているものの、在庫品で対応している。同じく長野市内の1工場は電話不通のため確認中。 小諸市内1工場が土砂流入等の被害をうけ稼働停止中。稼働再開の目的は不明。 上田市内で被災した2工場のうち1工場は稼働再開し、通常通り稼働。1工場は浸水被害により稼働停止中で、稼働再開の目的は不明。 東御市内2工場が被災。そのうち1工場は稼働再開し、通常通り稼働。1工場は浸水被害により稼働停止していたが、一部製品の製造を再開。2～3週間ほどで通常稼働の見通し。 佐久市内で被災した2工場のうち1工場は稼働再開し、通常通り稼働。1工場は浸水被害により稼働停止中。2～3週間ほどで通常稼働の見通し。 長和町内1工場が土砂による道路寸断のため出荷不可。2～3週間ほどで通常稼働の見通し。 佐久穂町内1工場土砂による道路寸断のため出荷不可。3～4週間ほどで通常稼働の見通し。 富士見町内1工場が土砂により道路寸断していたが復旧し、通常通り稼働。
	アスファルト混合物	東御市内1工場が土砂流入等の被害をうけ稼働停止中。稼働再開は来年以降になる見通し。 千曲市内1工場が浸水被害により稼働停止中。稼働再開の目的は不明。 その他周辺工場は通常通り稼働で、供給に問題はない。
	コンクリート二次製品	中野市内1工場が浸水被害により稼働停止しているものの、在庫品で対応している。

主要建設資材の供給プラントの稼働状況

【中部地区】

地域	資材名称	稼働及び供給状況
静岡県	生コンクリート (第1報)	通常通り稼働
	骨材・砕石 (第1報)	通常通り稼働
	アスファルト混合物 (第1報)	通常通り稼働
	コンクリート二次製品 (第1報)	通常通り稼働

主要建設資材の供給状況

※今回新たに追加した資材は、「資材名称」を赤字で表示しています。

地域	資材名称	供給状況
東日本	ブルーシート	被災地が広範囲であり、引き合いが多い状況が継続している。メーカー・販売店は、積極的に増産や輸入により国内在庫を増やしているものの、供給が遅れ気味な規格も一部生じている。
	土のう	被災地が広範囲であり、通常サイズ(48×68cm)の他に1t土のうも引き合いが多い状況が継続している。メーカー・販売店は、積極的に増産や輸入により国内在庫を増やしており、現段階で供給のひっ迫はみられない。
	耐候性大型土のう	緊急復旧工事向けの引き合いは一段落。一般土木工事向けの需要期であることも重なり、供給がタイトになっているメーカーも一部みられるが、現段階で供給のひっ迫はみられない。
	建設機械賃貸料金	緊急復旧工事向けの引き合いは一段落。リース会社の稼働率は均衡を保っており、現段階で供給のひっ迫はみられない。